

このエクセル様式は、道路橋定期点検要領（技術的助言の解説・運用標準）（令和6年3月、国土交通省 道路局）の付録 様式集に示された様式を道路橋データベース登録用に加工した様式です。
道路橋データベースへの登録を目的とする場合は、以下の注意事項に従い作成して下さい。

【データ作成時の注意事項】

様式全般に関する注意事項

- 様式-1～3の入力が必要なセル以外は保護（ロック）されています。保護（ロック）を解除された場合、入力されたデータ、およびデータベース登録後のデータベース内のデータについて不具合が生じる可能性がありますので、絶対に解除しないようお願いします。
- データベースでは決まったセルの値を取込みます。セルの配置が変わるような操作（列や行の挿入、削除）は行わないで下さい。
- 様式-2の備考欄、様式-3の健全性の診断の区分の前提、特記事項、所見欄については、行の高さの調整が可能です。文字数が多くセル内に表示できない場合には行の高さを調整して下さい。（データベースへの登録には影響しません。）

様式-1 および様式-2の画像貼付に関する注意事項

1. 様式-1,2共通

- 画像は、**jpeg形式のファイル**[※] を使用して下さい。
※拡張子がJPEG、jpeg、JPG、jpg の画像データ
- 1箇所（セル）に貼付られる画像は1ファイルのみ**です。
2枚以上の写真や写真の解説や矢印などのオブジェクトを個々に貼り付けることはできません。
2枚以上の写真や写真の解説や矢印などのオブジェクトが必要な場合には、それらを含む1枚の画像として貼り付けて下さい。
（右図参照）

登録不可の例（データベースでは取り込みできない）
画像上に矢印やテキストボックスが貼り付けられている。



登録可の例
矢印やテキストボックスを含めた1枚の画像として貼り付ける。

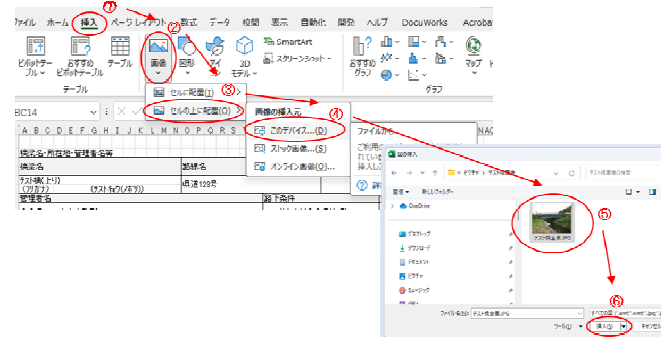


登録可の例
2枚以上の写真は、1枚の画像として貼り付ける。（下の例ではテキストボックスも含めて1枚の画像）



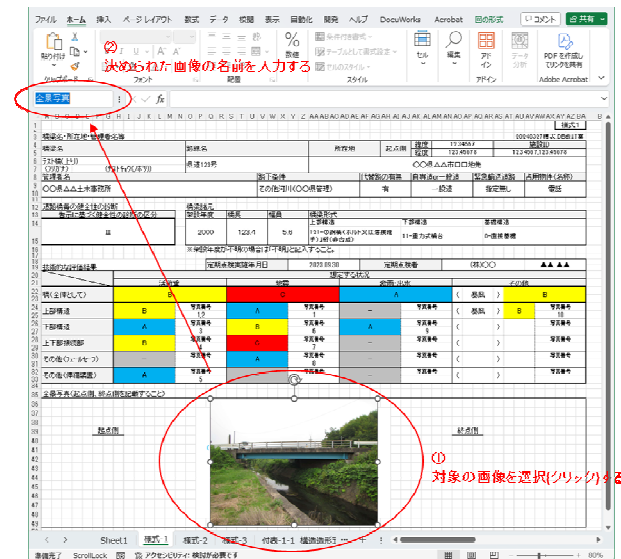
○画像は、エクセルのメニューバーの「挿入」→「画像」→「セル上に配置」※の操作で貼り付けて下さい。

※エクセルのバージョンによっては「セル上に配置」は表示されない場合があります。その場合は「画像」に続いてファイル選択して下さい。
(右図参照)



○貼り付けた画像には、必ず指定する**オブジェクト名を設定**して下さい。
(設定方法は右図参照)

○画像貼付の状態、セルに記載されている注意事項(青字・赤字)がはみ出て表示されている場合には、文字を消去しても結構です。(消去しなくてもデータベースの登録に影響ありません。印刷時など何時でも消去は可能です)



2. 様式-1 全景写真について

○オブジェクト名は、「**全景写真**」として下さい。(「」は不要です)

3. 様式-2 状況写真について

○オブジェクト名は、「**写真〇**」として下さい。(〇は貼付け位置の写真番号を半角(01,02,03,...)で記入、「」は不要です)

○道路橋データベースで登録できる写真枚数は、**最大20枚**となります。
データベース登録における制約であり、道路橋定期点検要領(技術的助言の解説・運用標準)(令和6年3月 国土交通省 道路局)
https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/tenken/yobo7_6.pdfで示される必要な写真枚数を制限するものではありません。

20枚を超えて必要な写真がある場合は、各道路管理者で保管して下さい。

改訂歴	
2024.4	初版
2024.07.30	様式1の緯度経度の表示修正（小数点以下5桁に固定） 様式1の下部構造形式のプルダウン選択範囲を修正（99_その他が抜けていた） 様式1の基礎形式のプルダウンメニューを変更（鋼管ソイルセメント杭、プレボーリング杭、深礎をそれぞれ10,11,12として個別に設定） 様式2の想定する状況のプルダウンリストを半角コード+「-」+名称に変更 様式2の構成要素の状態のプルダウン選択を修正（全角A,B,Cを半角A,B,Cに修正）

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.45678	施設ID
				経度	134.12345	35.45678,134.12345
〇〇大橋 (フリガナ) マルマルオオハシ	県道〇〇線	鳥取県〇〇市				
管理者名		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
米子県土整備局		〇〇川	有	一般道	一次	上水道管

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅲ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
1987	48.3	13.3	上部構造	下部構造	基礎構造
			124-①鋼橋(ボルト又は溶接継手)_I桁(不明)	13-逆T式橋台	0-直接基礎

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	定期点検実施年月日		2024.〇.〇		定期点検者		(株)〇〇〇〇		〇〇〇〇
	想定する状況								
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他		
橋(全体として)	C		C		B		()	—	
上部構造	C	写真番号 1,2,3	A	写真番号	—	写真番号	()	—	写真番号
下部構造	C	写真番号 4,5	C	写真番号 4,5	B	写真番号 6	()	—	写真番号
上下部接続部	B	写真番号 7	B	写真番号 7	—	写真番号	()	—	写真番号
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	A	写真番号	—	写真番号	()	—	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	—	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側

終点側

全景写真貼り付け

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.45678.134.12345		定期点検実施年月日		2024.〇.〇		定期点検者		(株)〇〇〇〇		〇〇〇〇					
構成要素				上部構造				構成要素				上部構造					
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		C		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		B			
																	
写真番号		1		径間		2		部材番号		Ds01		写真番号		2			
備考		大型車両の繰返し荷重により抜け落ちに発展する可能性がある。												写真番号		2	
備考		防食機能が劣化しており、腐食に進展する可能性がある。												備考		2	
構成要素				上部構造				構成要素				下部構造					
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		B		想定する状況		1-活荷重		2-地震		構成要素の状態		C	
																	
写真番号		3		径間		2		部材番号		MG03		写真番号		4			
備考		腐食の進行により部材の断面減少が懸念される。												写真番号		1	
備考		せん断破壊と考えられ、耐荷性能が低下している可能性がある。												備考		SB02	

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.45678.134.12345		定期点検実施年月日		2024.〇.〇		定期点検者		(株)〇〇〇〇		〇〇〇〇																			
構成要素				下部構造				構成要素				下部構造																			
想定する状況		1-活荷重		2-地震		構成要素の状態		C		想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		B															
																写真貼りつけ															
写真番号		5		径間		1		部材番号		SB02		写真番号		6		径間		1		部材番号		SB02									
備考		せん断破壊と考えられ、耐荷性能が低下している可能性がある。														備考		基礎部の洗堀が懸念される。													
構成要素				上下部接続部				構成要素				その他(伸縮装置)																			
想定する状況		1-活荷重		2-地震		構成要素の状態		B		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A															
																															
写真番号		7		径間		1		部材番号		Bh0302		写真番号		8		径間		1		部材番号		Ej02									
備考		腐食の進行により支承の機能低下が懸念される。														備考		ゴム材損傷による漏水が支承、桁端部等の劣化要因になっている。													

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

		施設ID	35.45678,134.12345		定期点検実施年月日		2024.〇.〇		定期点検者		(株)〇〇〇〇		〇〇〇〇	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提			特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)				
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他								
上部構造	有	無	無	有	—	無								
下部構造	—	無	無	—	無	無	洗掘状況が目視困難であるため、 豪雨・出水の評価をBとした。							
上下部接続部	無	—	—	有	—	無								
その他(フェールセーフ)	—	—	—	無	—	無								
その他(伸縮装置)	—	—	—	—	—	有				ゴム材損傷による漏水が支承、桁端部等の劣化要因 になっている。				

所見	【上部構造】 車道下床版の遊離石灰を伴う格子状の床版ひびわれは、大型車両の交通量が多いことやひびわれ発生パターンから疲労と判断する。遊離石灰を伴うことからひびわれは貫通していると考えられるが、格子の大きさは床版厚より大きく、角欠けは確認できない状況である。以上のことから、現時点で緊急対応が必要な状況ではないと考えるが、今後も繰り返し大型車両の通行の影響を受けるとひびわれ密度が増大し、抜け落ちに発展する可能性があることから、早期に床版全体の耐荷力の回復を行うべきである。 主桁は全体的に防食機能が劣化しており、桁端部で表面的な腐食が生じている。現時点では断面減少はなく、耐荷性能に影響はないと判断するが、腐食が進行すれば影響する可能性があるため、予防保全として防食機能の回復等を行うことが望ましい。 【下部構造】 橋脚橋座部の支承アンカーから斜めに生じたひびわれは、せん断破壊の可能性がある。活荷重や地震の影響に対して支点や上部構造を支持できない状態になる可能性があることから、早期に水平力に対する耐荷性能の回復を行うべきである。 【上下部接続部】 支承全体の防食機能が劣化しており、部分的に表面的な腐食が生じている。現時点では支承機能に影響ないと判断するが、今後も腐食が進行すれば機能に影響することが懸念されるため、予防保全として防食機能の回復等を行うことが望ましい。 【その他構造(フェールセーフ・伸縮装置)】 橋脚部伸縮装置の止水ゴムが除雪板により損傷し、漏水が生じている。伸縮装置はゴム材以外に損傷がなく、走行性にも影響は無いものの、主桁端部や支承の腐食を促進することから、早急に止水機能の回復を行うべきである。 【総評】 上記の推定結果を踏まえ、健全性診断の区分”Ⅲ”と判断する。
----	---

【上部構造形式、下部構造形式、基礎形式】
橋梁定期点検要領(案) 付録-1 定期点検結果の記入要領
付表-1. 1 構造形式一覧

(1) 上部構造

構造形式C		構造形式
121	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	I桁(非合成)
122	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	I桁(合成)
123	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	I桁(鋼床版)
124	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	I桁(不明)
125	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	H形鋼(非合成)
126	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	H形鋼(合成)
128	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	H形鋼(不明)
130	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	鋼桁橋(その他)
131	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	箱桁(非合成)
132	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	箱桁(合成)
133	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	箱桁(鋼床版)
134	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	箱桁(不明)
140	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	トラス橋
150	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	アーチ橋(その他)
151	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	タイドアーチ(アーチ橋)
152	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	ランガー(アーチ橋)
153	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	ローゼ(アーチ橋)
155	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	ニールセン(アーチ橋)
156	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	アーチ橋
160	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	ラーメン橋
172	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	箱桁(斜張橋)
199	①鋼橋(ボルト又は溶接継手)	その他(鋼溶接橋)
221	②鋼橋(リベット継手)	I桁(非合成)
222	②鋼橋(リベット継手)	I桁(合成)
223	②鋼橋(リベット継手)	I桁(鋼床版)
224	②鋼橋(リベット継手)	I桁(不明)
225	②鋼橋(リベット継手)	H形鋼(非合成)
226	②鋼橋(リベット継手)	H形鋼(合成)
228	②鋼橋(リベット継手)	H形鋼(不明)
230	②鋼橋(リベット継手)	鋼桁橋(その他)
231	②鋼橋(リベット継手)	箱桁(非合成)
232	②鋼橋(リベット継手)	箱桁(合成)
233	②鋼橋(リベット継手)	箱桁(鋼床版)

234	②鋼橋(リベット継手)	箱桁(不明)
240	②鋼橋(リベット継手)	トラス橋
250	②鋼橋(リベット継手)	アーチ橋(その他)
251	②鋼橋(リベット継手)	タイドアーチ(アーチ橋)
252	②鋼橋(リベット継手)	ランガー(アーチ橋)
253	②鋼橋(リベット継手)	ローゼ(アーチ橋)
255	②鋼橋(リベット継手)	ニールセン(アーチ橋)
256	②鋼橋(リベット継手)	アーチ橋
260	②鋼橋(リベット継手)	ラーメン橋
299	②鋼橋(リベット継手)	その他(鋼(鉄)リベット橋)
310	③RC橋	RC床版橋(その他)
311	③RC橋	RC 中実床版
312	③RC橋	RC 中空床版
321	③RC橋	RC T桁
330	③RC橋	RC桁橋(その他)
331	③RC橋	RC 箱桁
335	③RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)
336	③RC橋	RC特定溝橋(BOXカルバート)
350	③RC橋	アーチ橋(その他)
356	③RC橋	アーチ橋
360	③RC橋	ラーメン橋
399	③RC橋	その他(RC橋)
410	④PC橋	PC床版橋(その他)
411	④PC橋	プレテン床版
412	④PC橋	プレテン中空床版
413	④PC橋	ポステン中空床版
421	④PC橋	プレテンT桁
422	④PC橋	プレテンT桁(合成)
423	④PC橋	ポステンT桁
424	④PC橋	ポステンT桁(合成)
430	④PC橋	PC桁橋(その他)
431	④PC橋	プレテン箱桁
432	④PC橋	プレテン箱桁(合成)
433	④PC橋	ポステン箱桁
434	④PC橋	ポステン箱桁(合成)
435	④PC橋	PC溝橋(BOXカルバート)
436	④PC橋	PC特定溝橋(BOXカルバート)
450	④PC橋	アーチ橋(その他)
456	④PC橋	アーチ橋
460	④PC橋	ラーメン橋
471	④PC橋	I桁(斜張橋)
472	④PC橋	箱桁(斜張橋)
481	④PC橋	波形鋼板ウェブ橋
482	④PC橋	鋼管トラスウェブ橋
499	④PC橋	その他(PC橋)
556	⑤SRC橋	アーチ橋
599	⑤SRC橋	その他(SRC橋)
650	⑥石橋	アーチ橋(その他)
656	⑥石橋	アーチ橋
699	⑥石橋	その他(石橋)
825	⑧H形鋼橋(継手なし)	H形鋼(非合成)
826	⑧H形鋼橋(継手なし)	H形鋼(合成)
828	⑧H形鋼橋(継手なし)	H形鋼(不明)
830	⑧H形鋼橋(継手なし)	鋼桁橋(その他)
960	⑨その他	ラーメン橋
972	⑨その他	箱桁(斜張橋)
999	⑨その他	その他

(3) 下部構造

橋台橋脚構造形式 C	橋台橋脚構造形式	橋台橋脚構造形式その他
11	重力式橋台	
12	半重力式橋台	
13	逆T式橋台	
14	控え壁式橋台	
15	ラーメン橋台	
16	中抜き橋台	
17	盛りこぼし橋台	
18	小橋台	
19	その他(橋台)	L型橋台 T型橋台 U型橋台 アーチアバット インテグラルアバット パイルベント橋台 ブラケット取付 ブラケット張出 ボックスカルバート ボックスカルバート側壁 もたれ擁壁 深礎杭橋台 石積み橋台 柱式橋台(ピアアバット) 箱式橋台 本橋からの張出 本線橋台からの張出 本線一体型 不明
20	橋台部ジョイントレス構造	
21	壁式橋脚(RC)	
22	壁式橋脚(SRC)	
23	壁式橋脚(鋼製)	
31	柱橋脚(RC)	
32	柱橋脚(SRC)	
33	柱橋脚(鋼製)	
34	柱橋脚1柱円(RC)	
35	柱橋脚1柱円(SRC)	
36	柱橋脚1柱円(鋼製)	
37	柱橋脚1柱小判(RC)	
38	柱橋脚1柱小判(SRC)	
39	柱橋脚1柱小判(鋼製)	
41	ラーメン橋脚(RC)	
42	ラーメン橋脚(SRC)	
43	ラーメン橋脚(鋼製)	
44	柱橋脚1柱角(RC)	
45	柱橋脚1柱角(SRC)	
46	柱橋脚1柱角(鋼製)	
47	T型橋脚柱角型(RC)	
48	T型橋脚柱角型(SRC)	
49	T型橋脚柱角型(鋼製)	
51	二層ラーメン橋脚(RC)	
53	二層ラーメン橋脚(鋼製)	
61	T型橋脚(RC)	
62	T型橋脚(SRC)	
63	T型橋脚(鋼製)	
64	T型橋脚柱円型(RC)	
65	T型橋脚柱円型(SRC)	
66	T型橋脚柱円型(鋼製)	
67	T型橋脚柱小判型(RC)	

68	T型橋脚柱小判型(SRC)	
69	T型橋脚柱小判型(鋼製)	
71	I型橋脚(RC)	
73	I型橋脚(鋼製)	
81	パイルベント橋脚(RC)	
82	パイルベント橋脚(SRC)	
83	パイルベント橋脚(鋼製)	
84	柱橋脚2柱角(RC)	
85	柱橋脚2柱角(SRC)	
86	柱橋脚2柱角(鋼製)	
87	柱橋脚2柱円(RC)	
88	柱橋脚2柱円(SRC)	
89	柱橋脚2柱円(鋼製)	
91	柱橋脚2柱小判(RC)	
92	柱橋脚2柱小判(SRC)	
98	アーチ拱抬	
99	その他(橋脚)	H形鋼梁 ゲルバーヒンジ部 ヒンジ プラケット式橋台 プラケット取付 プラケット張出 ボックスカルバート隔壁 ラーメン橋脚(PC) ロッキング橋脚(鋼製) 掛け違い橋脚 形鋼による本線部橋脚添架 鋼管ウエル式橋脚 鋼製 中空橋脚 方杖ラーメン 本橋からの張出 本線一体型 本線橋に含む 本線橋下部工からの張出し 本線橋張出梁 枕梁式橋台 拱抬橋脚 不明

注:橋台橋脚構造形式その他は、代表的な例である。個別に適切に設定すること。

(4)基礎形式

基礎形式 C	基礎形式	基礎形式その他
0	直接基礎	
1	オープンケーソン	
2	ニューマチックケーソン	
3	鋼管矢板	
4	場所打ぐい	
5	既製鋼ぐい	
6	既製RCぐい	
7	既製PCぐい	
8	木ぐい	
9	その他	PCウエル PHC SC杭+PHC杭 軽量鋼矢板 杭頭部:SC杭 地中連続壁 不明
10	鋼管ソイルセメント杭	
11	プレボーリング杭	

12	深礎(柱状体深礎基礎、組杭 深礎基礎)	
----	------------------------	--

注:基礎形式その他は、代表的な例である。個別に適切に設定すること。

注:橋台橋脚構造形式その他は、代表的な例である。